

SBIインシュアランスグループ 会社説明資料



SBIインシュアランスグループ株式会社

証券コード：7326

2024年12月25日

当社グループについて	P. 3
商品・販売チャネル	P. 8
当社グループの強み	P. 10
直前5期の業績推移	P. 19
今後の予想・計画	P. 22

(免責事項)

- 本資料に掲載されている事項は、SBIインシュアランスグループ株式会社（以下「当社」）による当社グループの業績、事業戦略等に関する情報の提供を目的としたものであり、日本国内外を問わず、いかなる投資勧誘、保険の募集またはそれに類する行為を目的としたものではありません。また、当社は、本資料に含まれた情報の完全性及び事業戦略など将来にかかる部分について保証するものではありません。なお、本資料の内容は予告なしに変更又は廃止される場合がありますので、あらかじめご承知おきください。

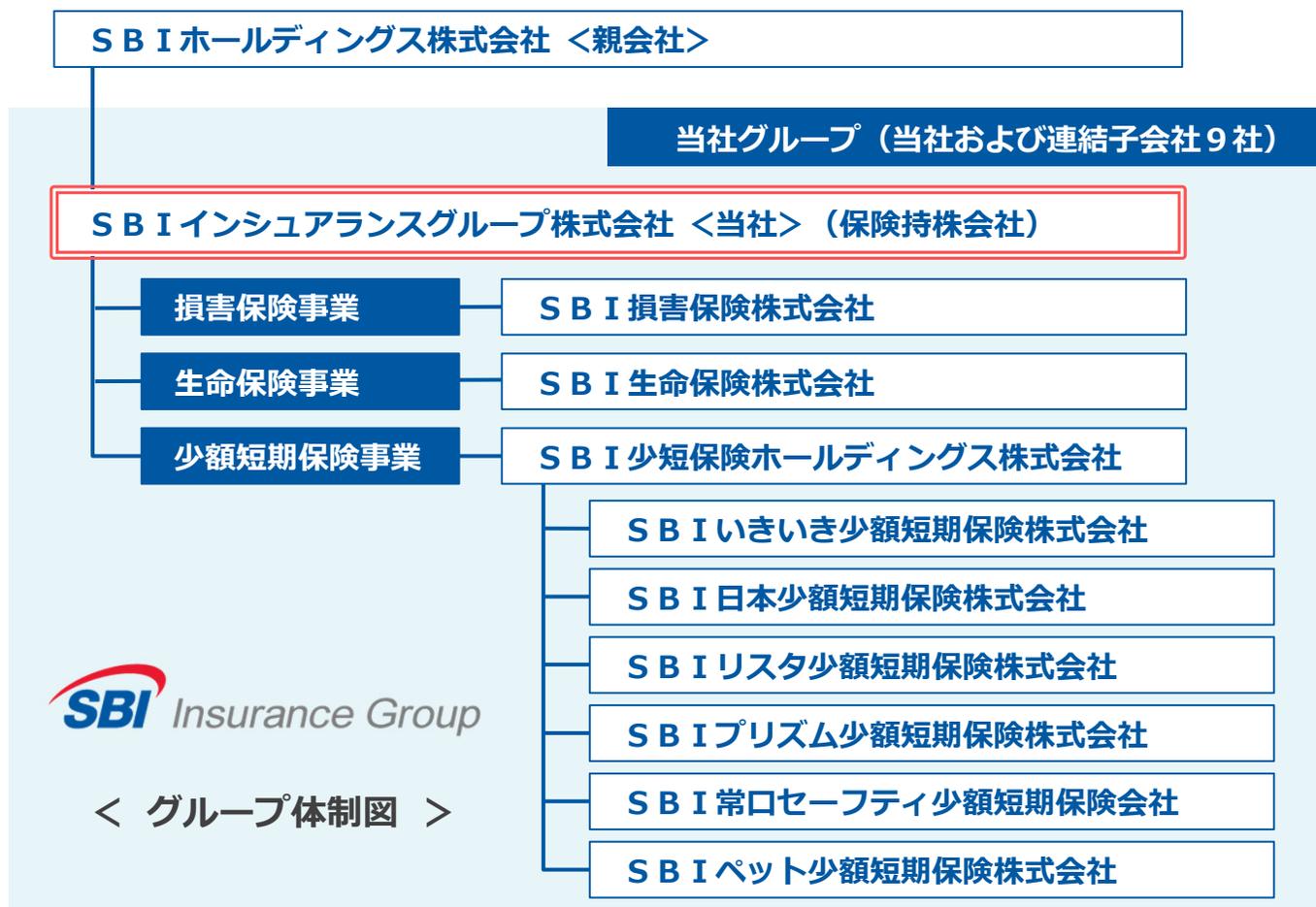
(本資料中の表示)

- 資料内の社名等の表示に、次の略称を使用している箇所があります。

SBI損害保険株式会社	・ ・ ・ ・ ・ SBI損保	SBIリスタ少額短期保険株式会社	・ ・ ・ ・ ・ SBIリスタ少短
SBI生命保険株式会社	・ ・ ・ ・ ・ SBI生命	SBIプリズム少額短期保険株式会社	・ ・ ・ ・ ・ SBIプリズム少短
SBI少短保険ホールディングス株式会社	・ ・ SSIHいきいき少短	SBI常口セーフティ少額短期保険株式会社	・ ・ ・ SBI常口セーフティ少短
SBIいきいき少額短期保険株式会社	・ ・ ・ SBIいきいき少短	SBIペット少額短期保険株式会社	・ ・ ・ ・ ・ SBIペット少短
SBI日本少額短期保険株式会社	・ ・ ・ ・ ・ SBI日本少短		

当社グループについて

当社は、**SBIグループの保険事業を統括している保険持株会社**。
 当社の経営管理の下、**連結子会社9社が損害保険事業、生命保険事業、少額短期保険事業の3事業を推進**



基本戦略

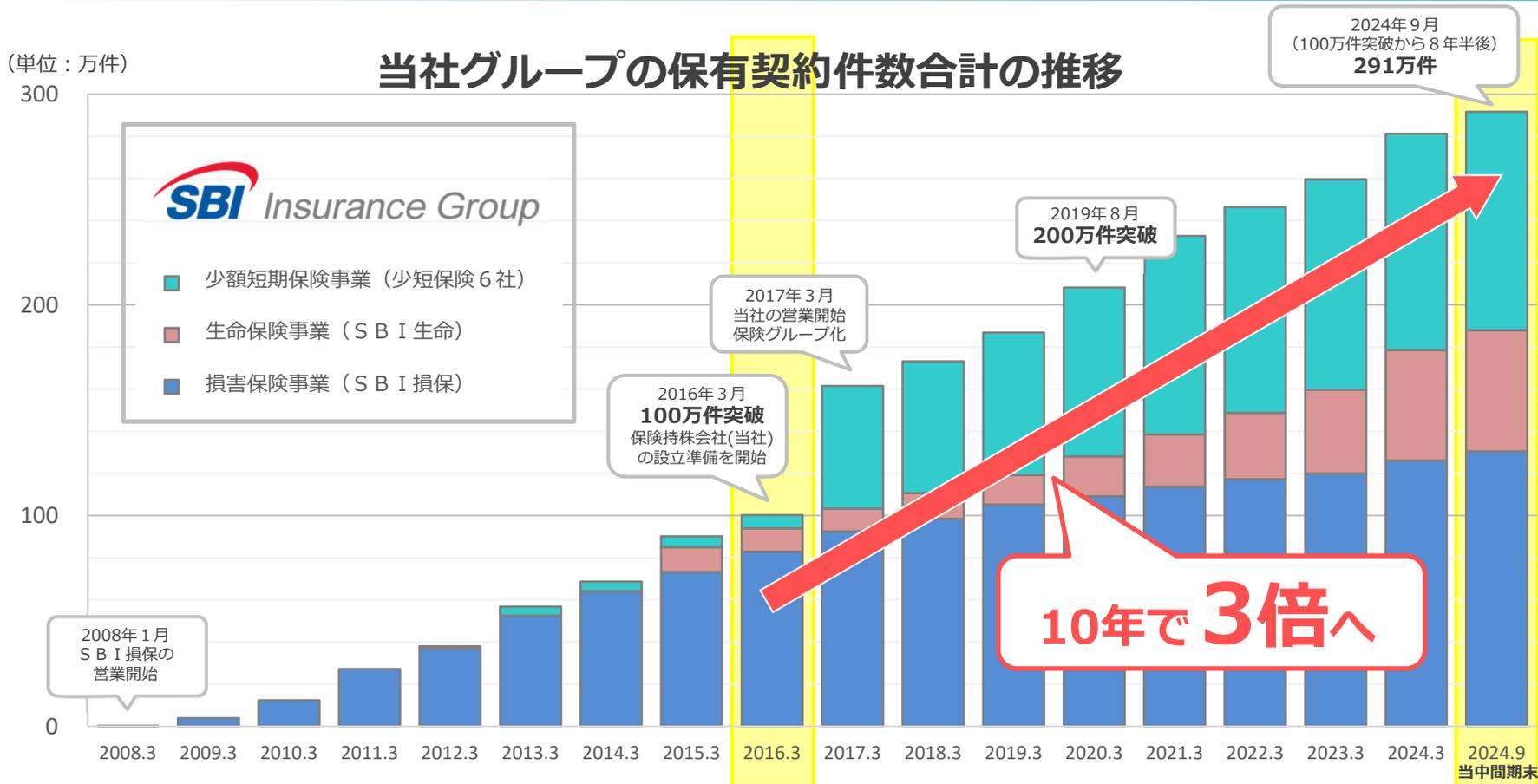
より良い保険商品を

他社よりも安い保険料でご提供することで、
お客さまに選んでいただく。

これによって、他社の市場シェアを奪って
事業規模を拡大する。

保険業界の成長企業。 保険市場の中の成長分野、グループシナジーが見込まれる分野を中心に事業を展開。 保有契約合計は10年で3倍へ

24年9月末の保有契約は291万件。 ※1 ※2 早ければ、100万件突破から9年の25年3月前後に300万件突破の見通し ※3

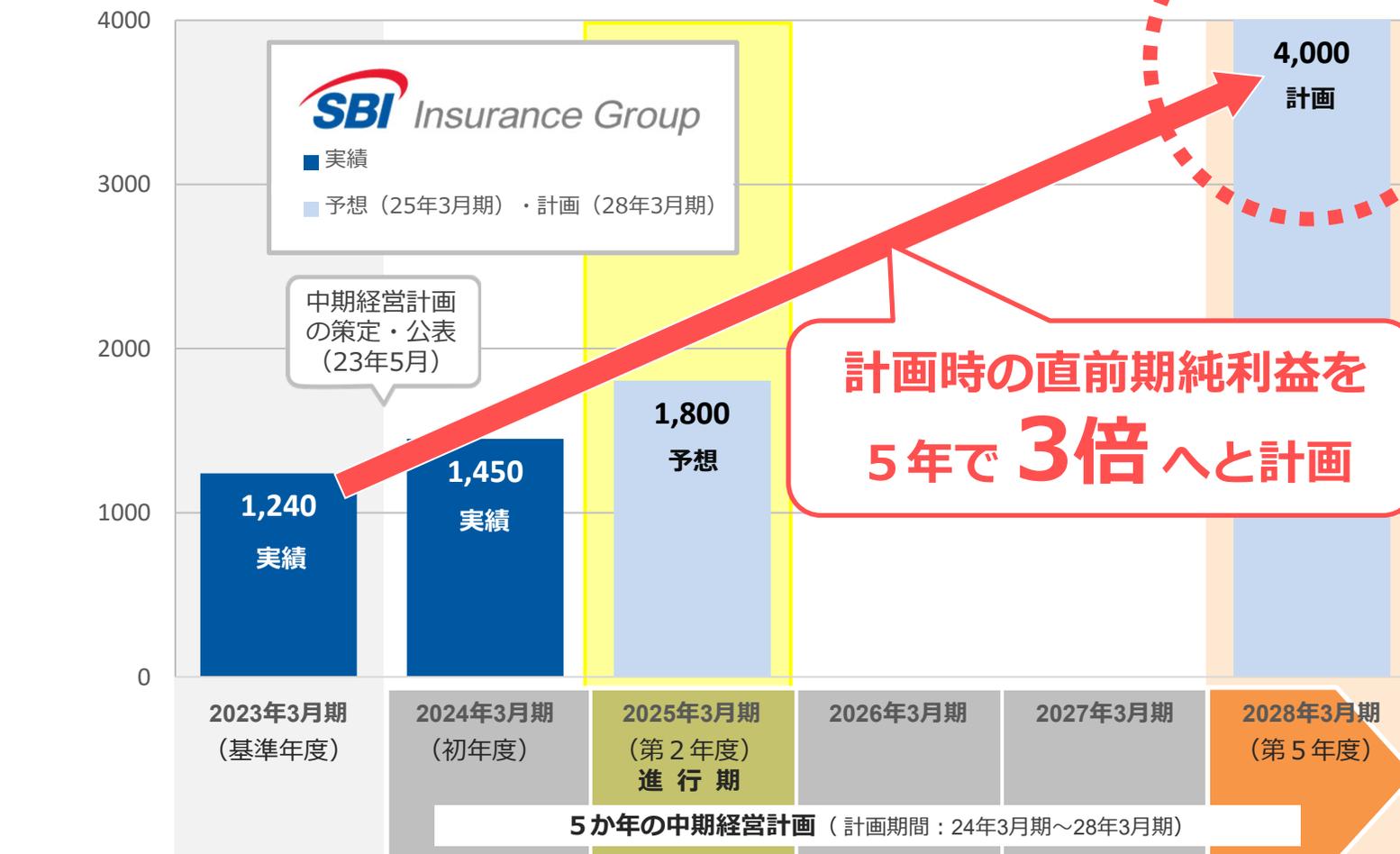


※1 当社はSBIグループの保険事業を統括する保険持株会社として2017年3月に営業を開始いたしましたが、当社の各子会社は当社の営業開始前から営業活動を行っているため、上記グラフでは各子会社のSBIグループ加入後(当社の親会社であるSBIホールディングス株式会社の子会社となって以後)の保有契約件数を表示しています。
 ※2 生命保険事業の保有契約件数には、SBI生命の団体信用生命保険の被保険者数を含めています。
 ※3 当社グループの保有契約件数合計は、2016年3月に100万件に到達しました。その8年6か月後の2024年9月末の保有件数合計は291万件であり、増加が続いています。

当年度は5か年の中期経営計画の第2年度。本計画の数値目標は、
最終年度の純利益を基準年度（23年3月期）の3倍、40億円に設定

※計画に対する実績の進捗状況は、本セミナーの後半で詳しくご説明します。

(単位：百万円) 親会社株主に帰属する当期純利益（連結ベース、実績・予想・計画）



商品・販売チャネル



「**ダイレクト型自動車保険**」などの、**個人向けの保険のオンライン販売（ネット通販）**が中心。商品特性に応じて、**代理店経由でも保険を提供**することにより、より広い範囲のお客さまへのアプローチが可能

事業セグメント

ダイレクト型
(オンライン)

代理店型
(オフライン)

損害保険事業



自動車保険



がん保険



サイバー
セキュリティ保険



火災保険

生命保険事業



死亡保険



医療保険



就業不能保険



団体信用生命保険

少額短期保険事業



地震保険



シニア向け保険



ペット保険



家財保険(貸貸)



ブライダル保険



オンライン+オフラインで広範な事業領域をカバー

当社グループの強み



1. 徹底的なローコスト・オペレーション

保険のオンライン販売を中心に事業を展開。

インターネットでお客さまとダイレクトにつながり、AI・ビッグデータなどのテクノロジーを利用した徹底的なローコスト・オペレーションを実践。

これにより事業費を節約し、その分、安い保険料でより良い保険商品をお客さまにご提供することで、お客さまに選ばれる。

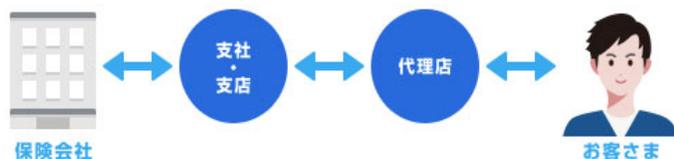
SBI損保の自動車保険

リーズナブルな保険料でお客さまに選ばれている**ダイレクト型の自動車保険**。
SBI損保は支社・支店などを持たず、人や書類を極力介さずに、主にインターネットを通じてお客さまとダイレクトにつながって保険契約を結ぶことで、**余計な中間コストを削減し、お手頃な保険料を実現**しています。

代理店型の損保

（代理店型自動車保険）

人件費などの中間コストが保険料に反映



SBI損保

（ダイレクト型自動車保険）

人件費などのコストをカットして
自動車保険をリーズナブルに提供



ダイレクト型自動車保険は、**究極の販売経費削減**

SBI損保は、他のダイレクト型と比べても割安な価格設定にチャレンジ。
「価格.com 自動車保険 満足度ランキング2024」の保険料満足度で第1位

SBI損保の自動車保険

「安かろう悪かろう」は、正しい情報を持たない人の思い込みかも。

ダイレクト型の顧客満足度は非常に高い。

SBI損保の自動車保険は、9割弱のお客さまが翌年も契約をご継続

保険料満足度



※自動車保険に関する自社アンケートより、保険料にとても満足・満足・やや満足とご回答いただいた方の割合（2023年1月から2023年6月に実施 回答数12,419件）

事故対応満足度



※事故対応に関する自社アンケートより、事故対応に大変満足・満足・やや満足とご回答いただいた方の割合（2022年4月から2023年3月に実施 回答数：13,883件）

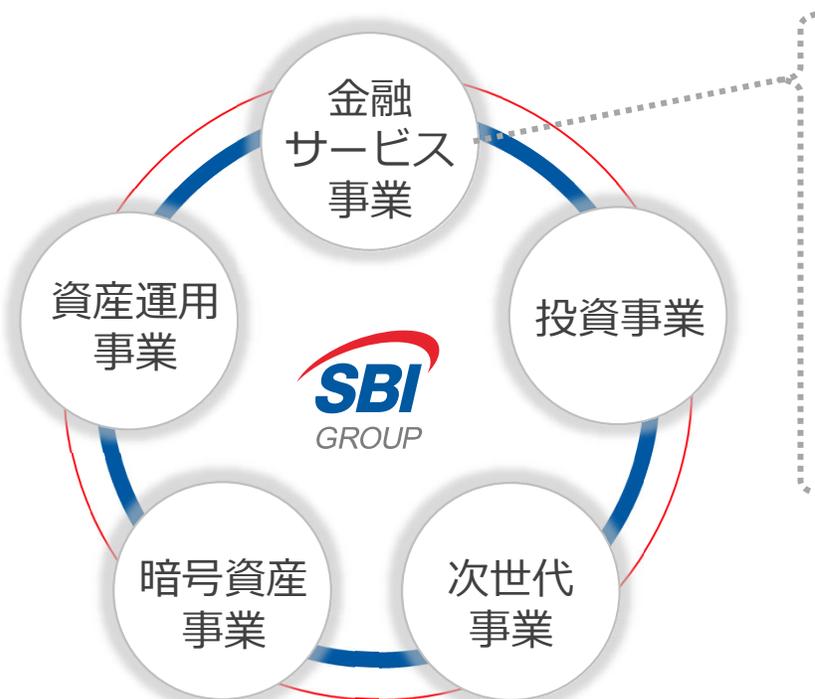
2. SBIグループのグループシナジー

SBIグループの非常に大きな顧客基盤を利用。
SBIグループ各社のお客さまに加え、
グループ外の地域金融機関・異業種企業を通じて、
さまざまな属性の顧客層へアプローチ。

テレビCM・新聞広告などのマス広告にかける
費用を抑えて、効率的に保険を販売。

SBIグループは、日本のインターネット金融のパイオニア。
オンライン証券、銀行、保険などの金融サービス事業を中心に、
多岐にわたる事業を展開する金融コングロマリット

< SBIグループの事業領域 >



< 代表的なグループ会社（金融サービス事業） >

1. 証券	SBI証券	(証券会社)
	SBIマネープラザ	(対面営業)
2. 銀行	SBI新生銀行	(銀行)
	アプラス	(総合信販会社)
	住信SBIネット銀行	(銀行)
	SBIアルヒ	(住宅ローン専門金融機関)
3. 保険	SBIインシュアランスグループ 10社	

- ノンバンクや法人金融を強みとするSBI新生銀行グループの加入（2021年12月）によって顧客基盤は一段と拡大
- 2024年3月期の収益（連結）は1兆2,105億円と1兆円を突破。顧客基盤数（グループ内重複あり）は5,050万件

※ SBIグループは、当社の親会社であるSBIホールディングス(株)を持株会社とした企業グループです。当社グループは、SBIグループに属しています。

SBIグループは「オープンアライアンス」を推進。SBIグループの顧客基盤の共有に加え、地域金融機関・異業種企業との積極的な提携によって、さまざまな属性の顧客層へのリーチが可能

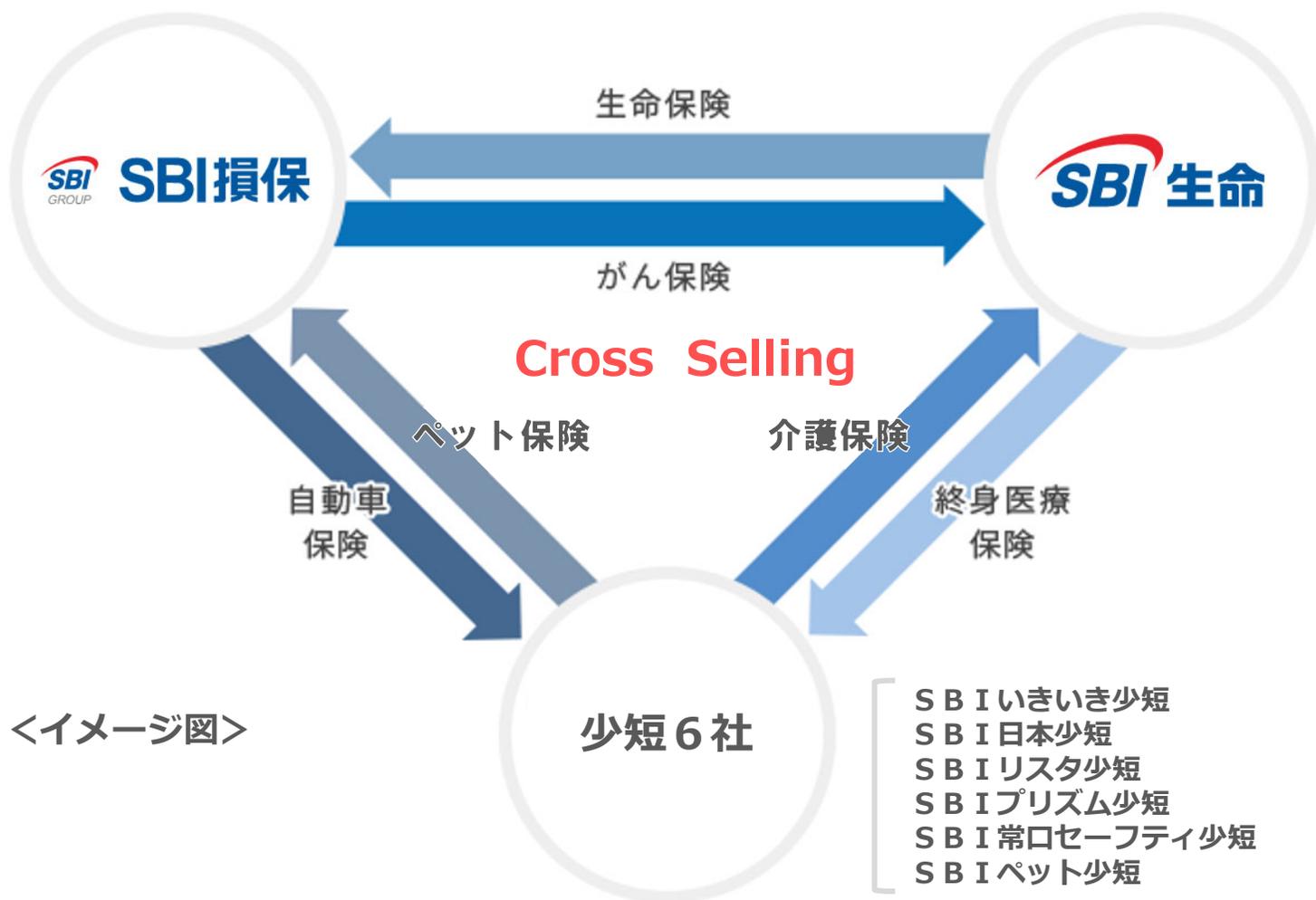
＜グループ外のさまざまな提携企業との広域な連携体制＞



※ 「オープンアライアンス」という言葉は、さまざまな業種、業態の中で大きな顧客基盤を有する企業と提携して、Win-Winのシチュエーションを創り出していくという考え方を表した造語です。



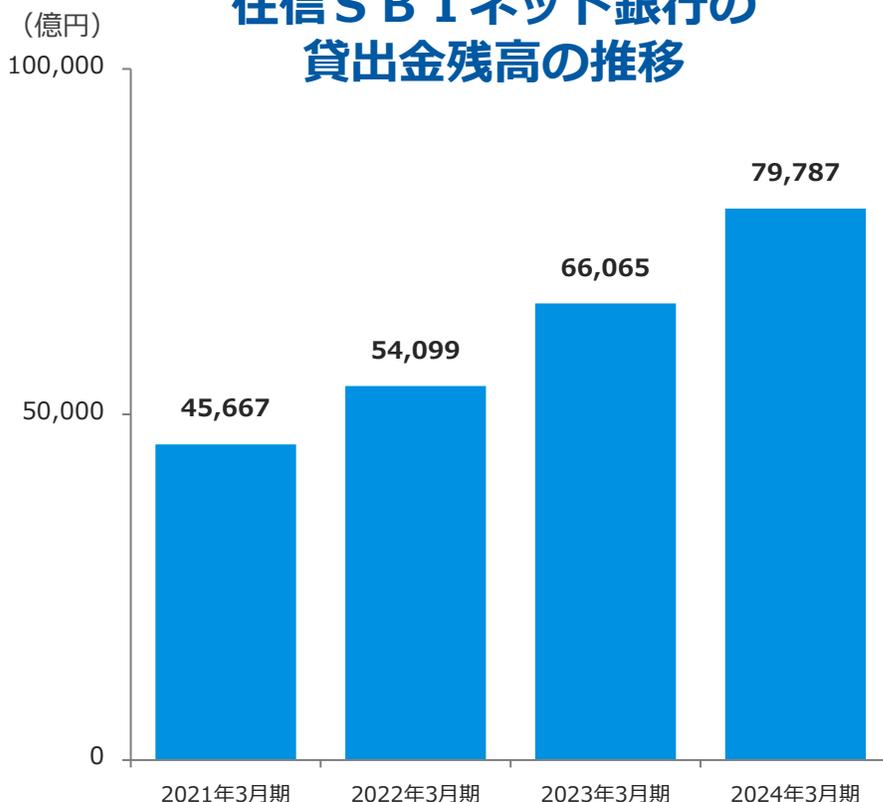
SBIインシュアランスグループの中でも顧客基盤を共有。ユニークな保険商品を、クロスセルでお互いに提供し合うことで、充実した商品ラインナップを実現



SBI生命 SBI生命の団体信用生命保険（団信）

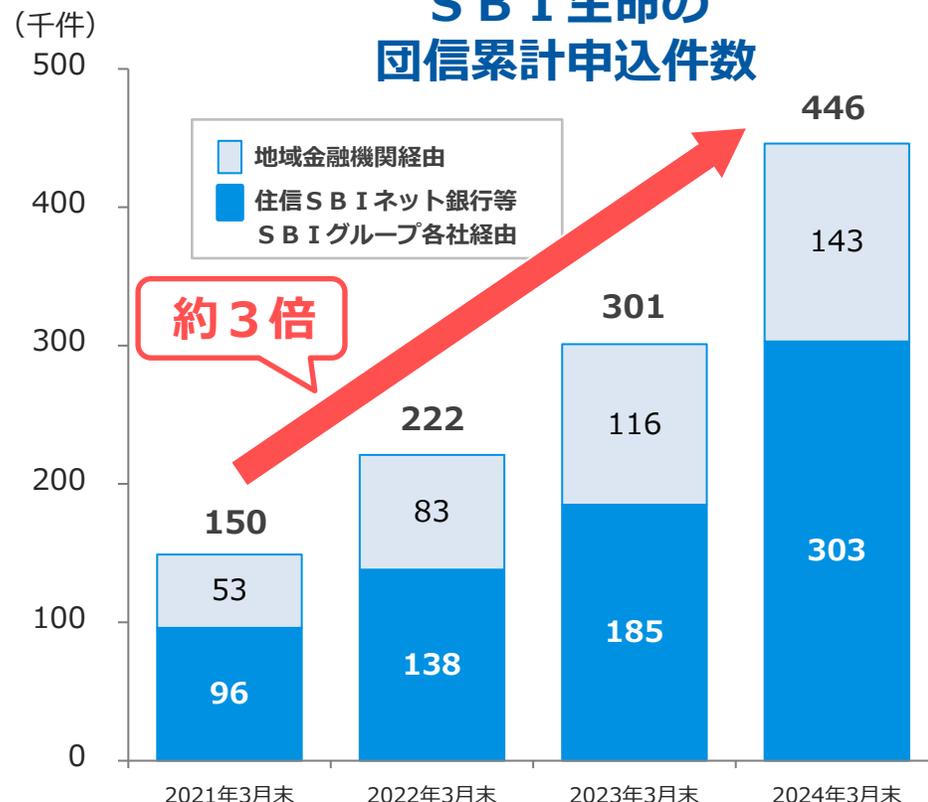
住信SBIネット銀行の住宅ローンをご利用のお客さまの急増に連動し、SBI生命の団体信用生命保険のお客さまの増加を目指します。

住信SBIネット銀行の貸出金残高の推移



※住信SBIネット銀行株式会社の公表資料に基づき当社作成。
※掲載金額は単体ベース。住宅ローンを含む貸出金残高合計金額を掲載。

SBI生命の団信累計申込件数



※2024年3月末以降の数値には、SBI新生銀行株式会社およびSBIアルヒ株式会社の実績が含まれています。

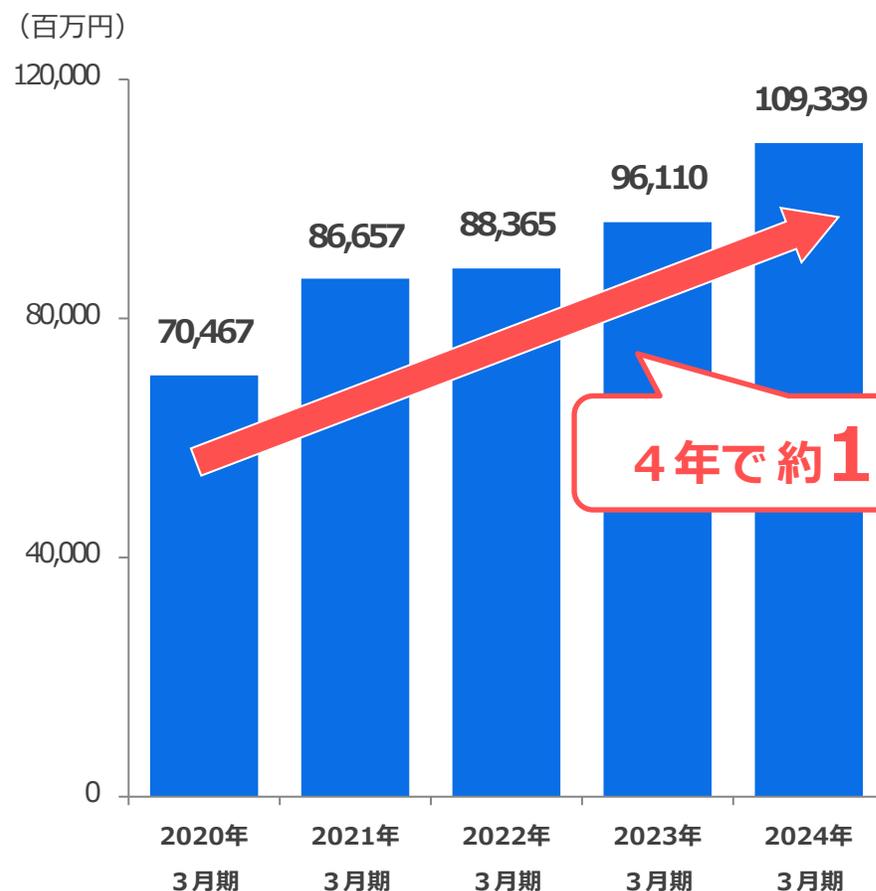
直前 5 期の業績推移



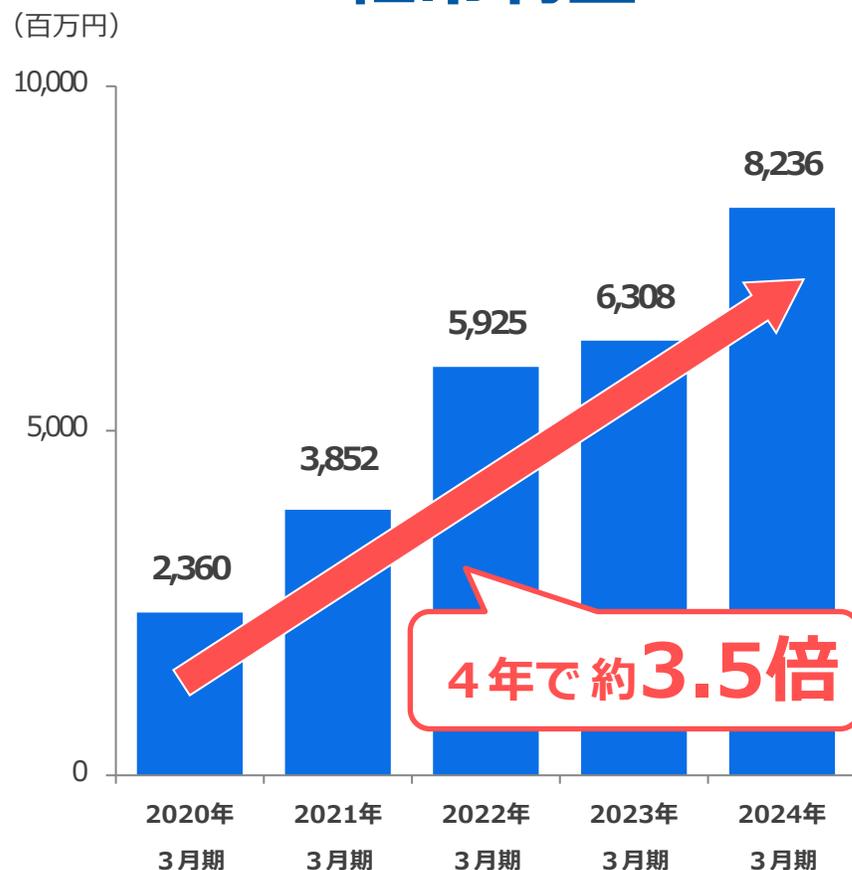
すべての事業において、保有契約件数の増加が続いた結果、会社設立以来、連続して増収。進行期も増収増益を見込む

< 連結経営指標 >

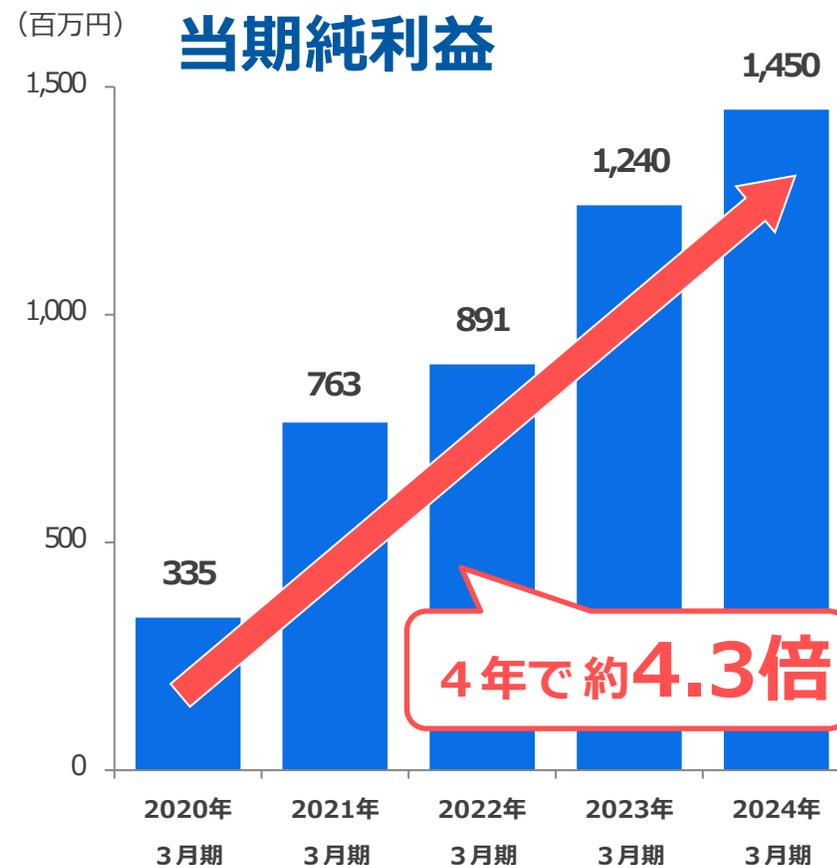
経常収益



経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益





今後の予想・計画

2025年3月期の業績予想（当期首の会社予想、修正なし）は、以下のとおり。当第2四半期までおおよそ予想通りに進捗

（当期の業績予想、配当予想）

指 標	2024年3月期 （前 期）	2025年3月期 （当 期）	前期比増減	
	実 績	予 想		
経 常 収 益 (百万円)	109,339百万円	116,000百万円	6,661百万円	+6.1%
経 常 利 益 (百万円)	8,236百万円	9,300百万円	1,064百万円	+12.9%
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益 (百万円)	1,450百万円	1,800百万円	350百万円	+24.1%
1 株 あ た り 配 当 額 (円 銭)	18.00円 (※)	20.00円	2.00円	+11.1%

※ 2024年3月期の1株あたり配当額の実績（18円）は、普通配当（15円）と上場5周年の記念配当（3円）の合計額です。



中計最終年度にあたる2028年3月期（当期）の計画値は、以下のとおり。
計画時における直前期（基準年度）の純利益を3倍とする計画

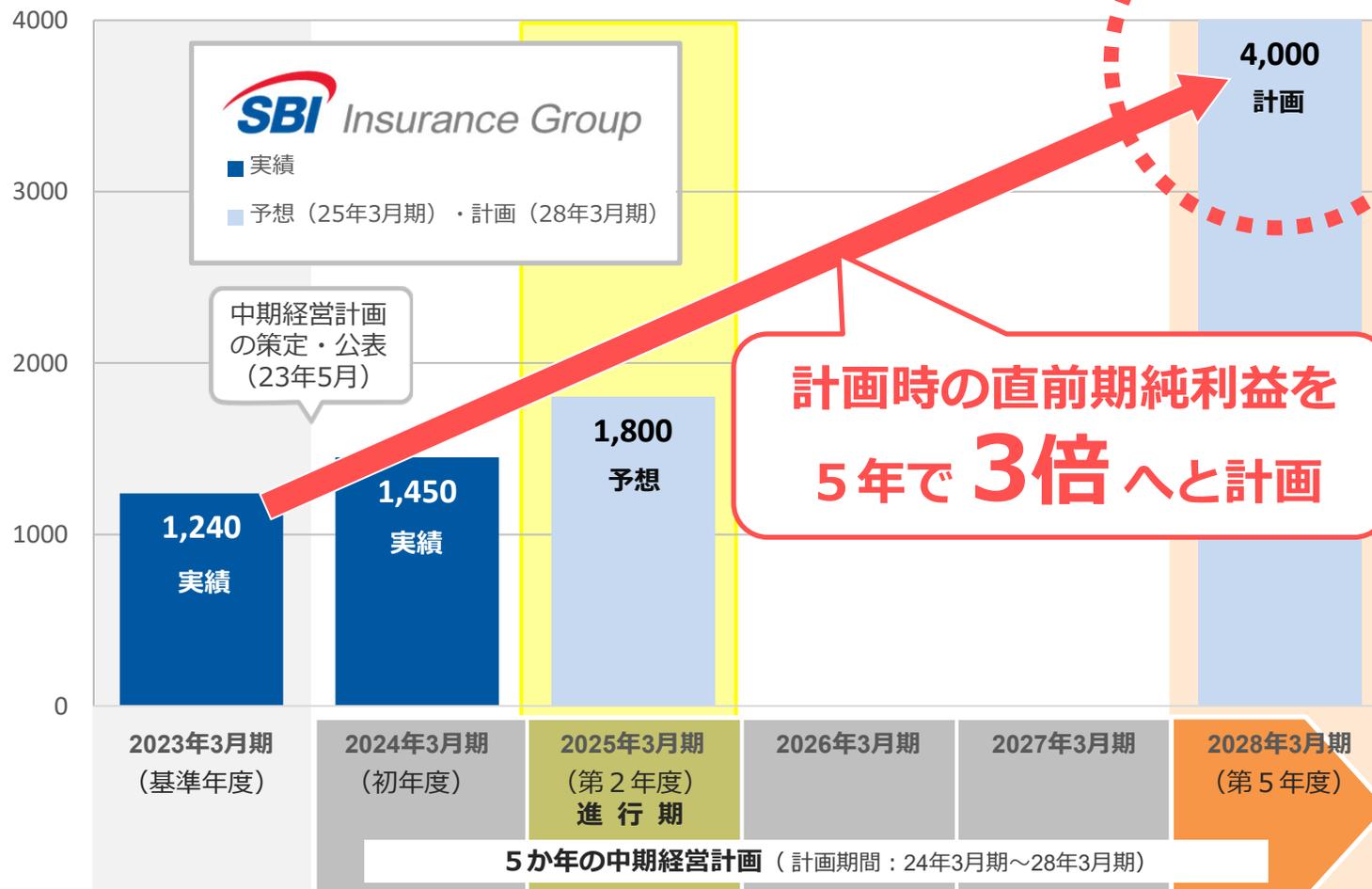
（当期の業績予想、配当予想）

指 標	2023年3月期 （基準年度）	2028年3月期 （計画最終年度）		
	実 績	計 画	基準年度比増減	
経 常 収 益 （百万円）	96,100百万円	160,000百万円	63,900百万円	+66.5%
経 常 利 益 （百万円）	6,300百万円	17,000百万円	10,700百万円	+169.5%
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益 （百万円）	1,240百万円	4,000百万円	2,760百万円	+222.5%
1 株 あ た り 配 当 額 （円 銭）	10.00円	30%前後の 水準の配当 性向を目指す。	-	-

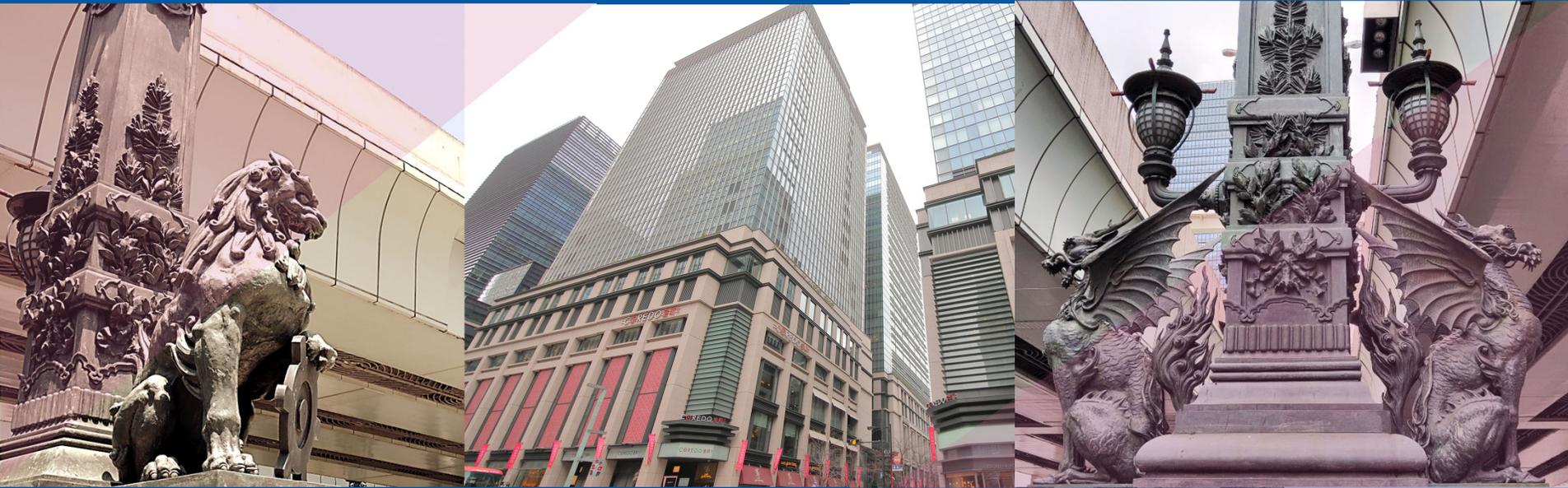


当年度は5か年の中期経営計画の第2年度。本計画の数値目標は、
最終年度の純利益を基準年度（23年3月期）の3倍、40億円に設定

(単位：百万円) 親会社株主に帰属する当期純利益（連結ベース、実績・予想・計画）



質 疑 応 答



<https://www.sbiig.co.jp>

 **SBI** Insurance Group

SBIインシュアランスグループ株式会社

証券コード：7326